



株式会社エンチャー

業種 小売業（ホームセンター等）

従業員数 436人（単独/2025年）

URL <https://www.encho.co.jp/>

本社所在地 静岡県富士市

取組の特徴

社内のコミュニケーション促進・リーダーシップ開発等に向けた研修として「森林整備活動」を実施



実施地域 静岡県富士宮市猪之頭地区

受入組織 特定非営利活動法人ホールアース自然学校

実施概要

創業75周年・ホームセンター開設40周年事業として静岡県が取り組む「しずおか未来のサポーター」制度に参画し、静岡県富士宮市で森林整備活動を開始。社員参加の環境貢献活動としての側面に加えて、所属・職歴が異なる従業員同士の交流を通じた社内の関係性の構築や若手社員のリーダーシップ開発にも繋げることで、組織の活性化に繋げている。

導入の経緯と決め手

- ▶ 創業75周年・ホームセンター開設40周年事業の新規CSRとして環境活動を模索する中で、環境イベントで「しずおか未来のサポーター」制度を知る。従業員参加型であること、地域にアピールできること、認定制度があることから実施を決定。
- ▶ 静岡県を中心に店舗展開しており、訪れやすく親しみを持ちやすいことから活動場所を選定。林業や自然に関する専門知識・技術に加え、社員が楽しみながら主体的に活動ができるファシリテーションができるスタッフがいるためホールアース自然学校に依頼。

プログラムの構築とねらい・工夫

- ▶ 材木店がルーツ、ホームセンターが基幹事業である社業との親和性から、間伐体験と間伐材を使ったDIYで構成。第1回はコミュニケーション、第4回は労う活動を含めて構成。
- ▶ 班分けは、店舗・年代が偏らないように配置しつつ、グループリーダーを新入社員等が担当して、全社的なコミュニケーション・チームビルディングに繋げている。
- ▶ 楽しみながらの交流を基本としつつ、活動では役割を替えることで声掛けしあい、教えあって一体感の醸成を工夫したり、本業に応用しやすいような気づき・声掛けを考慮。
- ▶ 非日常の雰囲気壊さないよう、地元食材を使った特別感のある昼食を用意している。

プログラムの効果、担当者・参加者の声

[効果] 所属・職歴を超えて従業員が交流して顔見知りになり、店舗間のやりとりがスムーズになるなど「業務の円滑化」、業務の悩みの共有・解消等の「情報交換の場」として機能。

[担当者の声] 「普段は指示を受ける側の若手社員をリーダーに設定して、メンバーをまとめる経験を積ませることで、リーダーシップ・キャリアアップの意識醸成に繋がっている」

[参加者の声] 「他部署、多店舗、他事業の方との交流機会としてとても良い場だと思う」「環境について考える機会ができ、日常生活について考えさせられた」

「森のプログラム」導入事例

- ①しずおか未来の森サポーター活動（間伐・森林環境教育）
（若手社員は研修参加・その他社員は任意参加/日帰り・年4回）



プログラム事例

◆しずおか未来の森サポーター活動（日帰り・年4回）

日程	プログラム	ねらい・内容
第1回	オリエンテーション	緊張を解してチームビルディングに繋ぐため、アイスブレイクとしてコミュニケーションゲーム(3~4種類)を実施
	森の中の昼食	リラックスして交流するため森の中。地元食材の弁当。
	間伐体験	統括・木を伐る・補佐など役割分担を交代しながら間伐
	ふりかえり	指導者からの総括
第2回 第3回	オリエンテーション	危険予測トレーニング、安全目標設定、体操
	間伐体験	統括・木を伐る・補佐など役割分担を交代しながら間伐
	森の中の昼食	リラックスして交流するため森の中。地元食材の弁当。
	間伐材を使ったDIY	グループ内で役割分担・交流しながらDIY
第4回	ふりかえり	指導者からの総括
	オリエンテーション	危険予測トレーニング、安全目標設定、体操
	間伐体験	統括・木を伐る・補佐など役割分担を交代しながら間伐
	芝生ひろばでの昼食	田貫湖ふれあい自然塾の芝生ひろばで昼食
	森とのふれあい体験	薪割り、丸太切り、焚火、施設内散策など自由選択
1年のふりかえり	感想・改善案をグループごとに発表しながら意見を交換	